

主催:応用物理学会 日本光学会 微小光学研究グループ

第 107 回微小光学研究会

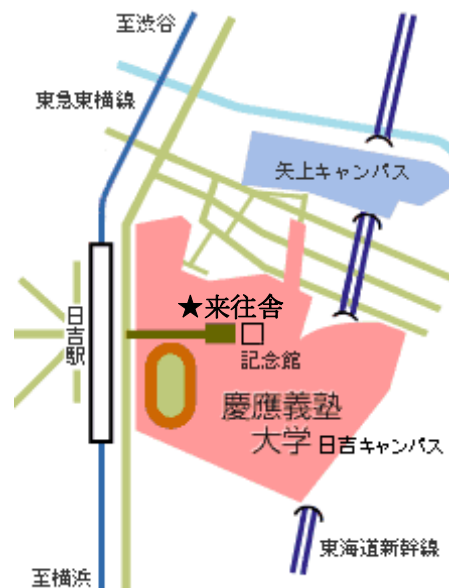
情報爆発と大容量光メモリ



日時: 2008年3月6日(木) 10:00~17:00

会場: 慶應義塾大学 日吉キャンパス
来往舎 1階 シンポジウムスペース
横浜市港北区日吉 4-1-1
http://www.keio.ac.jp/access/ac_hiyoshi.html
<http://www.keio.ac.jp/access/hiyoshi.html>

交通: 東急東横線 日吉駅下車(徒歩 1分)
※日吉駅に特急は停まりません。
※渋谷~日吉:25分(急行約 20分)
※横浜~日吉:20分(急行約 15分)
※新横浜~菊名~日吉:20分



プログラム

- 10:00~10:10 開会の挨拶
- 10:10~10:30 「イントロダクトリートーク —光ディスクに将来はあるか—」 横森 清(リコー)
- 10:30~11:10 【特別講演】「超高精細デジタルメディア・コンテンツの展望」 青山 友紀(慶應大)
- 11:10~11:40 「天文学における超大量データの活用法」 大石 雅寿(国立天文台)
- 11:40~13:00 <昼食休憩 80分>
- 13:00~13:30 「大容量光メモリの市場ニーズ」 松井 猛(ATii)
- 13:30~14:00 「大型ヘリカル装置での光ディスク利用と次世代技術への要望」 中西 秀哉(核融合科学研究所)
- 14:00~14:30 「映像セキュリティシステムの動向」 福地 孝志(松下)
- 14:30~15:00 「HD DVD と BD の技術的相違点」 後藤 顕也(東海大)
- 15:00~15:20 <休憩 20分>
- 15:20~15:50 「近接場光を用いた熱アシスト磁気記録」 松本 拓也(日立)
- 15:50~16:20 「テラバイトメモリを実現する2光子多層光メモリ」 川田 善正(静岡大)
- 16:20~16:50 「ホログラフィックメモリー:今どこまで来ているか」 志村 努(東大)
- 16:50~17:00 閉会の挨拶

参加費: 一般 4,000 円、学生 1,000 円 (資料代含む。当日ご持参ください)

参加申込: 不要 (直接会場にお越しください)

担当委員: 後藤(東海大)、横森(リコー)、藤巻(フジクラ)、宮本(東工大)、片山(NEC)

問合せ先: NECシステム実装研究所 片山龍一

Tel: 044-431-7581 Fax: 044-431-7592 E-mail: r-katayama@bl.jp.nec.com

微小光学研究グループ: 代表 伊賀健一; 運営委員長 後藤顕也; 実行委員長 中島啓幾; 副委員長 國分泰雄
プログラムは、微小光学研究グループのホームページ <http://www.comemoc.com/> でもご覧になれます。